

国連グローバル・コンパクト対照表

国連グローバル・コンパクト10 原則		掲載内容	掲載箇所
人 権	原則 1： 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである	<ul style="list-style-type: none"> ●企業倫理・コンプライアンス ●グローバル化と多様化に向けた取り組み ●TEL™ UNIVERSITY (人材育成の社内機関) ●CSR目標 	P11 P13 P13 P28-29
	原則 2： 企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである	<ul style="list-style-type: none"> ●CSR各部分針 	P31
労 働	原則 3： 企業は、組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持すべきである	<ul style="list-style-type: none"> ●企業倫理・コンプライアンス ●働きやすい職場 ●ワークライフバランスへの取り組み ●調達における取り組み 	P11 P12 P12 P17
	原則 4： 企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである	<ul style="list-style-type: none"> ●CSR目標 ●CSR各部分針 	P28-29 P31
	原則 5： 企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである		
	原則 6： 企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである		
環 境	原則 7： 企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである	<ul style="list-style-type: none"> ●東京エレクトロンの事業活動と環境問題 ●環境マネジメント ●地球温暖化防止に対する取り組み ●省資源に向けた取り組み 	P18 P19 P20-21 P22
	原則 8： 企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物削減に向けた取り組み ●化学物質に対する取り組み ●グリーン調達 ●CSR 目標 	P22 P23 P23 P28-29
	原則 9： 企業は、環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである	<ul style="list-style-type: none"> ●主な実績データ ●CSR 各部分針 	P30 P31
腐敗防止	原則 10： 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである	<ul style="list-style-type: none"> ●コーポレート・ガバナンス ●調達における取り組み ●CSR 目標 ●CSR 各部分針 	P8-11 P17 P28-29 P31